



青木村子どもはつらつネットワーク通信

平成26年度 第108号 9月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行



今年も夏休みの間、小学生を対象に「長泉サマーキャンプ」「高瀬青空授業」「YOU-YOU キャンプ」が行われ希望者が参加しました。また、保育園では未就園児に園を体験してもらう「園開放」や小中学校や児童センターの先生方が園児と交流する「保小中合同保育研修」が行われました。



静岡県長泉町
姉妹都市交流事業
2014.8.7~8

第6回 長泉サマーキャンプ

教育委員会 上原 博信

今年も、夏休み恒例の長泉サマーキャンプが行われました。

私にとっては3年間のブランクがありましたが4回目の参加となりました。

今回のキャンプで一番残念だったのは、台風11号の影響で、沼津港から海水浴場まで行く連絡船が出航できず、海水浴に行くことができなかったことです。バスの中で残それでは、具体的なキャンプの内容を紹介します。

本キャンプ前に行われたプレキャンプです。班のメンバー同士が仲良く、協力し合えることを目的にカレー作りと「信濃の国」の歌の練習をしました。参加した子どもたちは沓掛教育長や小学校柄澤教頭先生の話をよく聞き、役割分担をし、スムーズにおいしいカレーを作り、皆で楽しく食べることができました。5つの班、24人のすばらしい仲間作りができました。

そして、キャンプ当日がやってきました。今年は、小学校5、6年生24名と大学生10名、引率6名合計40名で出発しました。バスの中では、学生が自己紹介を交え、レクリエーション、読み聞か



せなどをしてくれて、子どもたちはずっと笑い声が絶えませんでした。

ところが、1回目の休憩時に、船業者に確認したところ「今日も波が高く、船が出ない。」と言われ、子どもたちは、元気をなくしてしまいましたが、とにかく長泉町の桃沢野外活動センターへ向かいました。

センターへ到着したら、なんと雨。霧のように雲が空一面にあり、第2案センターでの川遊びも断念せざるを得ませんでした。そして、第3案の水族館見学へ出発しました。伊豆・三津シーパラダイスという水族館です。ここは、私は2回目となる場所でした。前は、静岡で地震が起きて津波警報が発表となり、海水浴へ行けなかったのです。その経験が生きたといえれば聞こえが良いのですが、計画変更を即座に行い、伊豆・三津シーパラダイスへ向かいました。途中、天気は晴れてきて、海が見えると、子どもたちからは海へ行きたいという声より大きくバスの中に響きました。事務局としては辛かったです、子どもたちの安全を第一に考えた計画変更なので、バスを水族館へ走らせました。



水族館シーパラダイスへ到着。まずは、全員でイルカショーを観て、遊覧船に乗り海を20分間眺め、班ごと1時間自由見学しました。感想を後で聞くと、「水族館も楽しかった。」と子どもたちや学生が言ってくれたので、ほっとしました。

水族館からの帰り道、時間があつたので、富士山のきれいな湧き水が見学できる柿田川公園に立ち寄りました。湧き水をペットボトルに入れ、きれいな湧き水に驚いた声子どもたちから聞こえました。また、公園で鬼ごっこをしたいという要望が子どもたちからあつたので、30分ほど自由時間をもうけましたが、子どもたちは学生の手を引っ張り走り回り、空のペットボトルをおもちゃに蹴ったり、自由に遊びました。素のあおきこの姿を見ることができました。

そして午後5時30分に宿泊先の桃沢野外活動センターへ到着。夕食後7時からの交流ですが、すでに2、3名の長泉リーダーズのメンバーが来ていました。こんなに早くあおきこのために来てくれるなんて本当にこのキャンプを大事にいただき感謝です。

夕食では、今年も長泉町のご配慮により「あしたかメンチカツ」入りのカレーをおなか一杯いただきました。食事係の子どもたちが盛り付け、配膳など率先して取り組んでくれました。

そして、長泉リーダーズとの交流です。各班のレク係がキャンプファイアーに点火し、

始まりました。まずは、青木村から「信濃の国」の歌を披露し、リーダーズはおなじみの楽しいレクリエーション、最後にファイアーを囲んでの花火大会をしました。あっという間の1時間でした。毎年、あおきこのために楽しい企画を考えてくれてリーダーズの皆さんには感謝であります。あおきこでリーダーズのようなグループを組織できたらもっと活発な交流ができるのではとあらためて感じました。

そして、みんなでお風呂に入り、一日を振り返り、明日の目標を書き、発表し、午後10時に就寝しました。大騒ぎもせず、全員がぐっすり寝たようです。

2日目は、富士山登山です。空には一面雲が広がっていましたが、6時起床、7時朝食、宿泊施設の清掃を済ませ、8時30分センター退所式で長泉町の皆さんとお別れをして、いざ富士山へ向かいました。すると、みるみる富士山が見えてくるではありませんか。本当に私自身ガッツポーズしました。5合目に到着すると涼しく、下には雲海が広がり素晴らしい景色でした。そして全員で6合目の宝永山噴火口まで往復約2時間歩きました。集合写真も無事撮影でき、富士山特有の岩石が地面に転がっている中、歩きづらいのを全員ががんばり無事完歩しました。この子たちの中から次回はもっと上を目指して挑戦したいという子が現れるでしょうか。世界遺産になった富士山登山はよい思い出になったでしょう。

帰り道は、朝霧高原の道の駅で買い物、休憩をして、松本ICを過ぎたところから、一人一言のロングスピーチをバスの中でしました。全員が、1泊2日のキャンプで楽しかったことなどを発表し合いました。



みんなが文字通り長くいろんな話をしてくれたので時間が足りないくらいでした。人前でのロングスピーチ、あおきこのすばらしい一面を見ることができました。そして無事文化会館に到着しキャンプを終えることができました。

村の教育目標にある多様な他者との相互行為という点では、学生、長泉リーダーズ、教頭先生、看護師さん、子ども同士という多くの人に参加し、関わり、衣食住をともにし、社会力の育成につながると思います。また、ゲームや携帯電話がない環境で、多くの人との会話、水族館や湧水を見学、富士山登山というこのメンバーでしかできない活動をした2日間は、ゲームや携帯電話がなくても子どもたちは充実した生活を送れることを示してくれているといえるのではないのでしょうか。

姉妹都市長泉町の教育長さんをはじめ生涯学習課の皆さん、長泉リーダーズのお兄さん、お姉さんの皆さん、桃沢野外活動センターの皆さん、引率していただいた小学校柄

澤教頭先生、西沢看護師さん、安全運転をしていただいた金井さん、上野さん、大学生の皆さん、大勢の皆さんに対しあおきっこを大切にいただきこのキャンプが無事行えたことに感謝申し上げます。ぜひ来年も実施したいと思います。私にとっても思い出に残る素晴らしいキャンプとなりました。ありがとうございました。



高濱青空授業 2014

第9回高濱青空授業が8月3日（日）に小学校で行われました。3～6年生の34名と花まる学習会の48名が参加しました。グループに分かれ、小学校内のある物体の一部を撮った写真をヒントにその場所を正確に特定するピクチャーリーディングやお題に沿った長さ、重さ、時間を自ら体で測ってみようという体感ゲームを行いました。その後、お弁当を食べてから浦野川で川遊びをしました。



「いくら外遊びが大事だといっても勉強には関係ない」と思っている方が多いようです。しかし、本来「外遊び」こそが子どもたちに良質な驚きと感動を引き起こし、脳を活性化させる最高の方法なのです。また、外遊びは三次元イメージにあふれています。かくれんぼをしている時、木に登っている時、基地を作っている時、川で遊んでいる時、勉強で必要になる図形認識力や空間認識力がぐんぐん育っていきます。友達を作る力、もめごとに屈しないたくましさ、基礎体力、なんでもやってみようという好奇心、工夫しルールを設定する力など・・・必要条件を考えていくと、やはり「外遊び」こそが、勉強、そしてひいては子どもたちの「生きる力」を育むための最高の体験という結論になります。青木小のこの素晴らしい環境を活かさない手はありません。ぜひ学校・ご家庭・地域の皆さんでこの得がたい環境を大事にして欲しいと思います。

花まる学習会代表 高濱 正伸



YOU-YOU キャンプ^o

8月10日(日)～14日(木)まで、信大YOU遊未来主催によるキャンプが、長野市青少年錬成センターで行われました。信大YOU遊未来が活動する市町村から毎年40人ほどの小学生が参加し共同生活を送っています。今年は青木小学校から5人の6年生が参加しました。「子どもたちが非日常の中で初めて出会う仲間と触れ合うことで、人とつながることの楽しさや難しさを感じ、子どもが将来多くの人と関わろうとするきっかけにする」を活動目標としています。



小さいお友だちと遊ぼう！ -保育園 園開放の様子から-

青木村保育園 橋詰 照美

「明日は園開放だから小さい子が遊びに来る日だね」園児の中からそんな言葉が飛び出すようになりました。

園開放を始めて今年で3年目になりました。保育園の行事の一つとして定着しつつあります。そして、保育園に入る前の子どもとお母さんが大勢参加して下さるようになりました。園開放は、入園前のお母さんとお子さんのために、保育園はどんなところだろう？の疑問に答えるための日であり、保育園に入園している子どもの保護者の皆さんのために、普段の保育を見ていただくための日でもあります。また、園児にとっては、小さいお友だちやお母さんが来てくれ、ちょっと恥ずかしいけれど、嬉しく楽しみな日のようです。今年度は、すでに2回が終了しています。1回目は6月に保育園の





庭で好きな遊びを楽しみました。2回目は8月に泥んこ遊びや色水遊び、水鉄砲、シャボン玉をして遊びました。

これからもどんどん小さいお友だちがお母さんと一緒に、保育園に遊びに来てほしいと思います。3回目の園開放は10月です。次回は保育園となりの「あおきっこ広場」でお待ちしています。



保小中合同保育研修

8月8日(金)に小中学校と児童センターの先生方が青木村保育園で保育研修を行いました。今年は天候不良のためプールでの活動を行わず、クラスごとにおままごとや絵本の読み聞かせ、外遊びなどをしました。先生方は、「今までの交流の中で私の名前を覚えてくれていた。関わりの中での近さを実感できて良かった(小学校教諭)」「ぴよんぴよんジャンプするだけでも楽しそうに遊んでいた。身体を楽しく動かすことで、『力』が付くのだろうと思う(中学校教諭)」などの感想をもたれたようです。「毎年良い研修になっているので続けて欲しい」「子どもの成長の連続性を知ることで、この研修が具体的に保小中一貫教育の中で活かせるといいと思う」などの意見が出ていました。



編 集 後 記

今年度後期の「はつらつネットワーク参加団体活動計画表」を配布します。詳しくは各団体の代表者または教育委員会へお問い合わせください。皆さん、是非積極的にご参加ください。